

～ 湘北地区の人口・世帯数 ～

	人口	世帯
鶴が台	5,019(-97)	2,474(-7)
香川	11,636(151)	4,501(148)
松風台	1,480(-29)	579(-8)
甘沼	5,370(-27)	2,009(-10)
みずき	3,029(198)	1,060(63)
湘北地区	26,534(196)	10,623(186)
茅ヶ崎市	236,281(723)	94,719(1,008)

2012年 2月 1日速報値 ()内は対前年比



発行日 2012年3月 1日
(第38号)

発行者 湘北地区社会福祉協議会
会長 青木 有俱

発行部数 9,000部

「湘北」は、
湘北地区社会福祉協議会が
毎年2回発行しています。

「湘北地区社会福祉協議会(湘北地区社協)」は、湘北地区住民の福祉を進める社会福祉団体です。

設立25周年記念講演と
交流のつどい

湘北地区社会福祉協議会は、昭和61年7月に発足し、今年で25年目を迎えました。

この節目にあたり、これまでの活動を振り返り、今後の活動の指針とするための記念事業として香川公民館において、平成24年1月29日地域福祉の事例発表、記念講演および地域の活動をまとめた小冊子を作成しました。

事例発表は次の2題でした。
①「地域福祉活動と湘北地区社協」として、湘北地区社協 副会長 南雲恵子様に地区社協の歴史に沿って、広域活動から自治会範囲の地域へと移行していった動き、ボランティアセンター設置とその役割などについて話していただきました。
②地区内福祉活動の紹介として、武見正利様に、ご自身が会長としておられる福祉団体「ボランティア香川」の歴史・活動内容を話していただきました。

記念講演はルーテル学院大学学長 市川一宏先生に「地区内福祉活動の新たな出発」〜誰もが安心して暮らせる地域を目指して〜と題してお話を伺いました。
直面する生活問題として「孤立」の問題から話しを掘り起こされ、高齢者を中心にして発生している様々な生活課題(認知症、孤立死、ひきこもり、災害時要援護など)に対して地域として如何に対処すべきかといった内容でした。地域縁が薄れて来ている現在、地域福祉を支えるためには「きちんとした街づくりをして、住んでいる人の顔が見えるようにすること」が重要とのことでした。

ある地域では、普段、地域とのかかわりの薄いサラリーマンの方が、帰りのバス停から自宅までを「夜回り」を行い、防災・防犯といった観点から街づくりに参加している所があるとのことでした。少し視点を変えただけで地域への係わりができる様に思いました。
また、各地で取り組まれていた支援とそれに対する考え方の紹介があり、大変参考になりました。



分科会の活動

【健康福祉講座】

平成23年9月25日 香川公民館で神奈川県衛生研究所 熊坂 謙一先生に「いわゆる健康食品のもつ危険な落とし穴」と題してお話を伺いました。①健康食品とは? ②健康被害の防止に向けて(医薬品が添加された違法健康食品) ③医薬品成分の検出事例 ④健康食品と上手につきあうコツ、といった四つのテーマにわかれていました。
「健康食品」は正しく活用すれば健康の維持・増進に役立つものがある反面、注意しないと知らぬ健康被害につながるということでした。
バランスのとれた食事を日頃心がけることが基本ですが、健康食品を摂る場合は次のことに注意しましょう。
☆医薬品を服用している場合には、事前に医師・薬剤師に相談するか、摂取を控える。☆健康食品に表示された使用目安を守る。

次回は3月11日13時30分より「貯筋体操」についてお話を聞く予定です。簡単な体操で筋肉の衰えや関節の痛みを予防しましょう。自分の脚で元気に歩き続けるためにぜひおこしくください。



【公民館まつりバザー】

「手をつなごう!あなたが主役 出会いふれあい公民館」と地域の絆作りをテーマにした公民館まつりに、平成23年11月5日にバザーを出店しました。
当日は朝8時より材料(地産地消です)を調理室に搬入し、カレー等を調理しバザー部会長の挨拶のもと10時より一斉に販売を開始しました。
カレーライスの他、綿あめ、水飴せんべい、ウーロン茶、缶コーヒー等を販売しました。大勢のお客様とお天気に恵まれ完売することができました。前もっての仕入れや準備が大変でしたが無事終了することができました。これも部会スタッフ皆様のお蔭で紙面を借りてお礼の言葉といたします。



